

加藤 綾 (ソプラノ)

4 歳からピアノ、15 歳から声楽を始める。

東京音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。

同大学付属研究科声楽専攻修了。

声楽を持田篤に師事。

第 11 回日本クラシック音楽コンクール全国大会声楽部門大学の部入選。

同年、パラオ国際親善大使となり独立記念式典にて日本歌曲を披露。

また、在学中ミス日本準グランプリに輝き各方面でクラシック音楽の普及に尽力する。

第 11 回東京芸術協会主催日本クラシック音楽コンクール新人賞受賞。

同年、故郷会津鶴ヶ城にて日本歌曲ジョイントコンサートを開催。

第 11 回日本音楽家コンクール全国大会声楽部門一般の部入選。

2014 年東京モーターショーにソプラノ歌手として全日程出演。

同年、大阪、名古屋、福岡、札幌、仙台モーターショーにソプラノ歌手として全国を演奏して回る。

2015 年 邦楽作曲家 森亜紀作曲展に出演。東日本大震災後の思いを歌った、中村孝哲作詞 森亜紀作曲「散る花びらは櫻への思ひ」(日本初演)にて三味線、24 弦琴などの邦楽器と共演。

2015 年 バンコクモーターショー プレスカンファレンスにてソプラノディーバとしてソロ出演。

2017.2018 年 中央区ビジネスビルにおいてクリスマスツリー点灯式 アクトアーティスト。

2019 年までの 10 年間、格闘技団体「シュートボクシング」オフィシャルディーバを務め上げる。

現在、曲目のレパートリーを増やすべく、東京音楽大学大学院科目履修生として母校に在籍中。加納里美、萩原みか両氏に師事。